

令和元年度(2019年度)熊本県産農林水産物等の輸出実績について

令和元年度(2019年度)の県産農林水産物等の輸出実績について、以下のとおりとりまとめました。

概要

令和元年度の本県産農林水産物等の輸出額は、**61億円(対前年度比102%)**となり過去最高を更新し、**2年連続で目標金額の60億円を達成。**

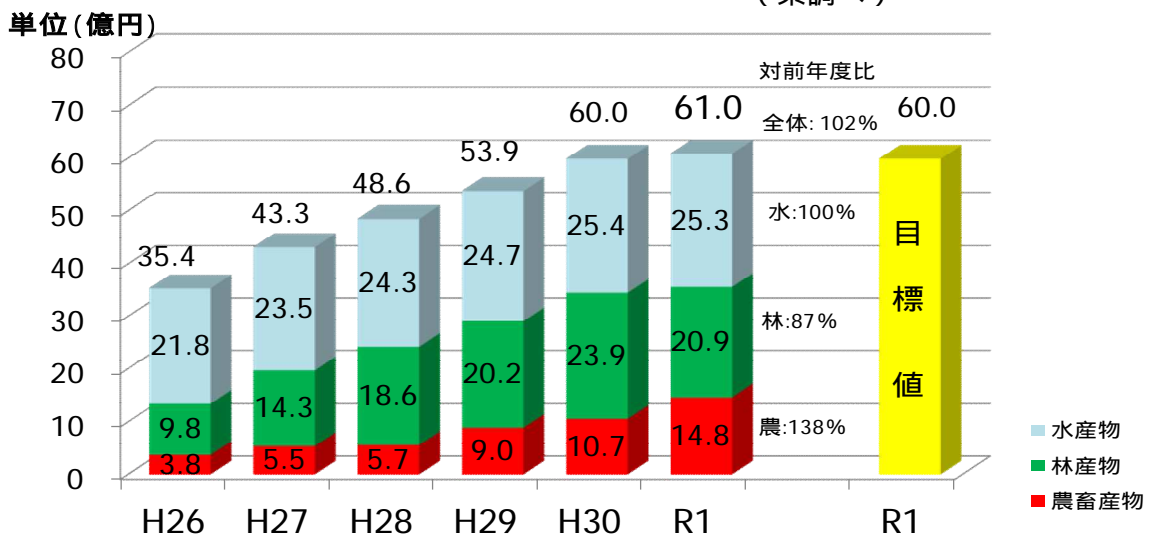
部門ごとの輸出実績は次のとおり。

	令和元年度輸出実績	(参考)平成30・29年度輸出実績	
	輸出金額(対前年度比)	平成30年度	平成29年度
農畜産物	14億8千万円(138%)	10億7千万円	9億0千万円
林産物	20億9千万円(87%)	23億9千万円	20億2千万円
水産物	25億3千万円(100%)	25億4千万円	24億7千万円
合計	61億0千万円(102%)	60億0千万円	53億9千万円

商工観光労働部観光物産課 農林水産部林業振興課・水産振興課調べ
(県が輸出を把握している団体・業者への調査)

【参考】

県産農林水産物等の輸出実績の推移 (県調べ)



【お問い合わせ先】

観光物産課 甲斐・曾我 <内線: 5396(直: 096-333-2395)>
 林業振興課 廣田・小崎 <内線: 5640(直: 096-333-2448)>
 水産振興課 渡辺・那須 <内線: 5677(直: 096-333-2457)>

各部門の概要

農畜産物

概要

- アジアを中心に、日本産農畜産物への高い関心と検疫条件緩和等による市場拡大により、主力品目の畜産物等が順調に増加。
- 既存国・地域へのさらなる輸出拡大と、新規国・地域の市場開拓を図るため、バイヤー招へいや現地での販売プロモーションなど、商談機会の創出に取り組んだ。



香港でのプロモーション

【令和元年度(2019年度) 農畜産物等の品目別・国別輸出状況】

(単位:千円)

	米	かんしょ	いちご	梨	牛肉	牛乳	加工品	その他	合計	対前年度比
香港	10,711	13,198	111,830	1,985	429,845	63,929	68,834	79,133	779,465	145%
シンガポール	500	1,637	30,982	0	216,946	1,391	28,986	8,733	289,175	118%
台湾	1,358	250	250	10,588	214,721	4,928	23,350	347	255,791	162%
アメリカ	292	0	0	0	36,212	0	3,914	0	40,419	52%
カナダ	0	0	0	0	18,015	0	100	0	18,115	170%
その他	306	23,441	17,735		29,953	2,322	7,285	17,062	98,104	230%
合計	13,167	38,526	160,797	12,573	945,691	72,570	132,469	105,276	1,481,069	138%
対前年度比	57%	245%	300%	74%	127%	153%	126%	158%		

端数処理の関係で合計額が異なることがある。

品目別の輸出状況

- 輸出の6割強を占める牛肉は香港、台湾向けを中心に増加。
- 牛乳は香港と台湾向け、かんしょは香港とタイ向けが大幅に増加。
- いちごは、香港、シンガポール、タイ、向けが大幅に増加。

林産物

概要

○最大の貿易相手国である中国において、欧州から大量の木材が安価に輸出された影響等により、本県からの輸出量、金額ともに昨年度より下回ったものの、全体では3年連続で20億円を上回った。

東アジアを中心に加工・流通状況の調査、住宅総合展示会出展、製材品のテスト輸出、海外バイヤーとの商談等を実施し、販路開拓に取り組んだ。

【令和元年度(2019年度) 県内港からの木材輸出実績(国別・品目別)】

輸出先国名	丸太		製材品		合計		対前年度比	
	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)
中国	107,784	1,262,400	3,191	72,129	110,975	1,334,529	87%	83%
韓国	28,823	636,702	1,348	34,875	30,171	671,577	110%	109%
アメリカ	0	0	1,418	63,434	1,418	63,434	53%	48%
ベトナム	534	9,820	149	5,365	683	15,185	76%	76%
台湾	437	5,452	0	0	437	5,452	155%	33%
合計	137,578	1,914,374	6,106	175,803	143,684	2,090,177	91%	87%
対前年度比	91%	90%	86%	69%	91%	87%		

出所：財務省貿易統計に基づく林業振興課調べ。

品目別の輸出状況

丸太は、中国向け輸出量が78%と大半を占める中、欧州からの安価な木材が大量に輸出された影響等により、減少。

製材品は、数量、金額ともに減少したが、アメリカ(戸建て住宅フェンス用)において、輸出拡大に向けての取組が定着し、今後、伸びが期待できる。



台湾台北市で開催された台北ビルディングショーにおけるモデルルーム

水産物

概要

- 北米、アジア(韓国、中国、香港、台湾等)向けに、ブリ、マダイ、シマアジ等の養殖魚を中心に輸出。北米向けのブリやカンパチが減少したものの、アジア地域へのマダイ、ブリ、シマアジや北米向けのシマアジの輸出が増加したことにより、全体の輸出額は昨年度並みとなった。
- 市場拡大が期待されるアジアやEU市場への販路拡大のため、中国での商談やイタリアのバイヤーを初めて招いた商談への支援を行った。

【令和元年度(2019年度) 水産物の魚種別・地域別輸出状況】

(単位:千円)

	ブリ	マダイ	シマアジ	カンパチ	その他	計	対前年度比
北米	946,411	398,330	53,596	5,631	24,921	1,428,889	82%
アジア	426,058	244,989	253,172	5,255	127,784	1,057,258	142%
韓国	211,412	214,807	9,223			435,442	190%
中国	16,668		142,382		9,756	168,806	207%
香港	71,084	5,013	46,546	1,055	20,174	143,872	83%
台湾	39,243	9,305	23,995		9,588	82,131	130%
その他	87,651	15,864	31,026	4,200	88,266	227,007	116%
EU					9,219	9,219	19%
オーストラリア		325			572	897	82%
その他	5,469	755	12,801	1,100	16,408	36,533	344%
計	1,377,938	644,399	319,569	11,986	178,904	2,532,796	100%
対前年度比	92%	118%	143%	12%	104%	100%	

品目別の輸出状況

- ブリは、アジア向け輸出は増加したが北米向けが減少し、輸出額が減少。
- マダイは、特にアジア向け取引拡大により全体の輸出額が増加。
- シマアジは、北米、アジア向け取引拡大により輸出額が増加。
- カンパチは、全国の生産量が減少し、国内需要に対応したため、輸出が減少。



イタリアからのバイヤーを招いた視察状況